

# 考古学研究室報告

## 第 41 集

### 上天草市所在遺跡の調査報告 2

第 1 部 千崎古墳群第 4 次調査報告

第 2 部 広浦古墳測量・実測調査報告

第 3 部 小波戸遺跡発掘調査報告

第 4 部 上天草市所在遺跡採集資料報告

第 5 部 千崎古墳群・桐ノ木尾ばね古墳  
出土人骨調査報告

2005年度 考古学研究室の足跡

2 0 0 6

熊本大学文学部考古学研究室

表紙写真：広浦古墳遠景  
裏表紙写真：千崎古墳群5号墳石室の羨道

## 序 文

今年度の夏はとくに忙しかった。4つのフィールド調査が行われ、そのうちのいくつかが同時進行したためだ。8月上旬、熊本県竜北町教育委員会に協力するかたちで大野窟古墳横穴式石室の実測調査が始まり、実測経験をもつ上級生がそこに集結。その途中に今年度の研究室主催のメイン調査、熊本県西原村河原第3遺跡の発掘調査が開始された。大野窟古墳調査参加者も含めほとんどの学生がそれに携わり、新たな石器ブロックの存在を確認するなどの大きな成果を上げた。10日程の休息ののち、今度は熊本県上天草市史大矢野町編纂事業の一環となる千崎古墳群発掘調査と広浦古墳測量調査が並行して実施された。千崎古墳群では横穴式石室の存在を確認、広浦古墳では詳細な測量図を作成し、9月末、ようやく予定した夏の調査を終了した。

これ以外にも、春には上天草市所在遺跡の分布調査と鹿児島県笠利町マツノト遺跡出土遺物の整理作業、秋には島根県松江市古浦遺跡の発掘調査、そして夏休み前にはロシア共和国・クラーク5遺跡の発掘調査が実施されているので、授業期間と冬の整理作業期間をのぞいてほぼ1年中、何らかのフィールド調査が行われていたことになる。

でも、掘りっぱなしではいけない。調査成果を報告書にまとめて世に問うことは考古学徒として最低限の義務である。調査を行っている主体がこれからの考古学界を担う学生の集う学問の府であればなおさらである。このような強い信念のもと、苦労は多々あるけれどもなんとか毎年の報告書刊行を継続してきた結果、本書で41集を数えるに至った。大学をめぐる昨今の情勢にはとても厳しいものがあるが、こうした教育・研究活動を今後も維持していきたいと強く思う。

さて、本書には上天草市所在遺跡に関わる調査の成果が盛り込まれている。上述の古墳調査はもちろんのこと、2003年度に実施した小波戸遺跡の発掘調査、さらにはこれまで公表されてこなかった各種表採資料・発掘資料の報告も含まれている。これらは『上天草市史大矢野町編資料集2』として刊行されたものであるが、上天草市関係各位のご厚意によりここに転載させていただいた。発掘調査や整理作業、報告書印刷の過程でお世話になった多くの方々を含め、心よりの感謝の念を捧げたい。

2006年3月1日

杉井 健

## 例 言

1. 本書は、熊本県上天草市所在遺跡を対象とした考古学調査の報告書であり、『上天草市史大矢野町編資料集 2』（上天草市発行、2006年）の別刷である。その内容は、千崎古墳群の実測・発掘調査報告、広浦古墳の測量・実測調査報告、小波戸遺跡の発掘調査報告、上天草市所在遺跡の分布調査および表採遺物の報告、千崎古墳群および桐ノ木尾ばね古墳出土人骨の調査報告からなる。

2. それぞれの遺跡・調査についての詳細は以下の通りである。

### 【千崎古墳群】

- (1) 千崎古墳群は、熊本県上天草市大矢野町維和千崎3080・3081番地他に所在する。
- (2) 今年度の調査は第4次調査にあたり、本書の内容はそれに関するものである。
- (3) 調査主体は上天草市教育委員会である。
- (4) 調査担当者は杉井健（熊本大学文学部助教授）と前田真由子（同文学研究科大学院生）である。
- (5) 調査期間は2005年9月11日から28日までの計18日間である。
- (6) 千崎古墳群に関するレベル高はすべて海拔を表し、方位は国土座標（2系）の北を示す。
- (7) 報告書抄録に示した北緯と東経は、測量基準点S E 01の世界測地系による数値である。
- (8) 土層名の色調は『新版標準土色帖』によった。
- (9) 調査および合宿、整理作業の実施にあたっては、以下の諸氏・諸機関から多くのご協力とご援助を賜った。四丸浩二（上天草市史大矢野町編編纂室）、山崎勝安・成田健一（伐採）、逸見泰久（熊本大学合津マリンステーション：宿舎）、古城史雄（熊本県教育委員会）、維和島住民の方々、上天草市大矢野公民館
- (10) 調査参加者は以下の通りである。  
甲元眞之・木下尚子・杉井健（熊本大学教員）、芝康次郎（同社会文化科学研究科博士課程1年生）、森幸一郎（同文学研究科修士課程2年生）、岡本真也・神川めぐみ・前田真由子（同文学研究科修士課程1年生）、三好栄太郎（同文学部研究生）、島津屋寛（同文学部4年生）、荒田敬介・清水恒志・高平愛子・津田勇希・平野直己・森貴教（同文学部3年生）、一本尚之・長田幸子・小濱麻依子・倉元慎平・高濱美來・高椋浩史（同文学部2年生）、壱岐尾可奈子・八郷美美（同卒業生）
- (11) 写真撮影については、調査参加者全員が担当した。

### 【広浦古墳】

- (1) 広浦古墳は、熊本県上天草市大矢野町維和広浦に所在する。
- (2) 広浦古墳の調査・報告は、1919年に京都帝國大學によって行われている（『京都帝國大學文學部考古学研究報告』第3冊）。今回の調査は、その時以来約90年ぶりに行われた2度目の考古学調査にあたる。
- (3) 調査主体は上天草市教育委員会である。
- (4) 調査担当者は杉井健（熊本大学文学部助教授）と神川めぐみ（同文学研究科大学院生）である。
- (5) 調査期間は2005年9月11日から28日までの計18日間である。
- (6) 広浦古墳に関するレベル高はすべて海拔を表し、方位は国土座標（2系）の北を示す。
- (7) 報告書抄録に示した北緯と東経は、測量基準点Oの世界測地系による数値である。
- (8) 第17図に示した装飾文様をもつ石棺材の写真は以下の文献から複写した。  
京都大学文学部考古学教室（代表者 樋口隆康）編集『京都帝國大學文學部考古学研究報告』第3冊 九州に於ける装飾ある古墳、1976年、臨川書店発行（原本：濱田耕作・梅原末治・島田貞彦著『京都帝國大學文學部考古学研究報告』第3冊 九州に於ける装飾ある古墳、1919年、京都帝國大學発行）。  
なお、複写にあたっては、京都大学大学院文学研究科考古学研究室および臨川書店の許可を得た。
- (9) 調査および合宿、整理作業の実施にあたっては、以下の諸氏・諸機関から多くのご協力とご援助を賜った。渡辺康信（調査地土地所有者）、四丸浩二（上天草市史大矢野町編編纂室）、山崎勝安・成田健一（伐採）、逸見泰久（熊本大学合津マリンステーション：宿舎）、古城史雄（熊本県教育委員会）、維和島住民の方々、上天草市大矢野公民館
- (10) 調査参加者は以下の通りである。  
甲元眞之・木下尚子・杉井健（熊本大学教員）、芝康次郎（同社会文化科学研究科博士課程1年生）、南健太郎・森幸一郎（同文学研究科修士課程2年生）、岡本真也・神川めぐみ・前田真由子（同文学研究科修士課程1年生）、三好栄太郎（同文学部研究生）、島津屋寛（同文学部4年生）、荒田敬介・清水恒志・高

平愛子・津田勇希・平野直己・森貴教（同文学部3年生）、一本尚之・長田幸子・小濱麻依子・倉元慎平・高濱美來・高椋浩史（同文学部2年生）、壺岐尾可奈子・児玉幹・西嶋剛広・松ヶ野恵（同卒業生）

(11) 写真撮影については、調査参加者全員が担当した。

#### 【小波戸遺跡】

- (1) 小波戸遺跡は、熊本県上天草市大矢野町上小波戸に所在する。
- (2) 調査主体は大矢野町教育委員会（当時）である。
- (3) 調査担当者は甲元眞之（熊本大学文学部教授）である。
- (4) 調査期間は2003年4月26日から5月1日までの計6日間である。
- (5) 小波戸遺跡に関するレベル高はすべて海拔を表し、方位は磁北を示す。
- (6) 報告書抄録に示した北緯と東経は、世界測地系（国土地理院ホームページ地形図閲覧システム）によるものである。
- (7) 土層名の色調は『新版標準土色帖』によった。
- (8) 調査および整理作業の実施にあたっては、以下の諸氏・諸機関からの多くのご協力とご援助を賜った。  
和田誠治（上天草市史大矢野町編纂室）、山崎純男（福岡市教育委員会）、木村龍生・宮崎敬士（熊本県教育委員会）、荒木隆宏（玉名市教育委員会）、上天草市大矢野公民館
- (9) 調査参加者は以下の通りである（所属は当時）。  
甲元眞之・大坪志子（熊本大学教官）、宮本千恵子（同文学研究科修士課程2年生）、金姓旭・芝康次郎（同文学研究科修士課程1年生）、前田知聖（同文学部4年生）、齊藤伸太郎・高橋直人（同文学部3年生）、原香織・牧野幸子（同文学部2年生）

#### 【上天草市所在遺跡】

- (1) 調査は、上天草市大矢野町所在縄文時代遺跡の分布調査、および上天草市大矢野公民館・大矢野高等学校・宇城市教育委員会所蔵資料の調査・整理の2つに分けて行われた。
- (2) 分布調査の主体は上天草市教育委員会である。
- (3) 分布調査の期間は2005年4月29日から5月1日までの計3日間である。
- (4) 分布調査および資料整理作業にあたっては、以下の諸氏・諸機関から多くのご協力とご援助を賜った。  
四丸浩二（上天草市大矢野町史編纂室）、荒木隆宏（玉名市教育委員会）、上天草市大矢野公民館、大矢野高等学校、宇城市教育委員会
- (5) 調査参加者は以下のとおりである。  
分布調査：甲元眞之（熊本大学教員）、芝康次郎（同社会文化科学研究科博士課程1年生）、神川めぐみ（同文学研究科修士課程1年生）、仙波靖子（同文学部4年生）  
整理作業：金姓旭・芝康次郎（熊本大学社会文化科学研究科博士課程1年生）、神川めぐみ（同文学研究科修士課程1年生）、三好栄太郎（同文学部研究生）、西山絵里子（同文学部4年生）、荒田敬介・清水恒志・高平愛子・津田勇希・平野直己・森貴教（同文学部3年生）、一本尚之・長田幸子・小濱麻依子・倉元慎平・高濱美來・高椋浩史（同文学部2年生）

#### 【千崎古墳群・桐ノ木尾ばね古墳出土人骨】

- (1) 本書で報告する人骨資料は、1955年に千崎古墳群および桐ノ木尾ばね古墳で検出されたものである。現在、それら資料は熊本大学大学院医学薬学研究部に保管されている。
- (2) 千崎古墳群は熊本県上天草市大矢野町維和千崎3080・3081番地他に、桐ノ木尾ばね古墳は同市大矢野町維和桐ノ木に所在する。
- (3) 調査は九州大学大学院比較社会文化研究院の中橋孝博先生に依頼し、熊本大学文学部考古学実習室にて2004年10月12・13日に行われた。
- (4) 調査にあたっては、熊本大学大学院医学薬学研究部の児玉公道先生に多くのご配慮をいただいた。
- (5) 調査には中橋先生のほか、杉井健（熊本大学教員）と牧野幸子（同文学部3年生：当時）が参加した。
- (6) 写真撮影は、中橋先生の指導のもと牧野が担当した。

3. 本書の編集は第1部を前田真由子、第2部を神川めぐみ、第3・4部を芝康次郎、第5部を杉井健が担当した。第1～4部の執筆分担については執筆者名をそれぞれの文末に示した。第5部については執筆者名を章の頭に示した。

# 本文目次

第1部 千崎古墳群第4次調査報告	1
一 位置と環境	3
1. 地理的環境	3
2. 熊本県・鹿児島県所在の箱式石棺を有する古墳	3
二 調査経過	12
1. 過去の調査(第1次～第3次調査)	12
2. 第4次調査	12
三 7号墳・26号墳の構造	14
1. 7号墳	14
2. 26号墳	17
四 5号墳の調査成果	18
1. 墳丘の構造	18
2. 主体部の構造	22
五 まとめ	24
1. 7号墳・26号墳の構造	24
2. 5号墳の構造	24
3. 5号墳の主体部について	25
4. 今後の課題	26
第2部 広浦古墳測量・実測調査報告	27
一 位置と環境	29
1. 地理的環境	29
2. 歴史的環境	29
二 調査経過	34
1. 過去の調査	34
2. 今回の調査目的	35
三 調査成果	36
1. 古墳の立地	36
2. 墳丘の構造	38
四 まとめ	41
1. 古墳の立地と調査に至る経緯	41
2. 調査の成果	41
第3部 小波戸遺跡発掘調査報告	43
一 位置と環境	45
二 調査経過	45
1. 調査に至る経緯	45
2. 調査の経過	45
三 調査成果	47
1. 層序	47
2. 遺物の出土状況と遺構	47
3. 縄文土器	48
4. 石器	52
5. 木器	56
6. 須恵器	57

四	まとめ	59
1.	調査の概要	59
2.	調査の成果	59
3.	天草諸島における縄文時代の中での小波戸遺跡の位置づけ	60
第4部	上天草市所在遺跡採集資料報告	61
一	資料報告に至る経緯	63
二	遺跡の位置と現状	63
三	採集遺物	66
1.	小波戸遺跡・江樋戸遺跡	66
2.	柳貝塚	73
3.	荒木浜遺跡	76
4.	治郎田遺跡	78
5.	満越遺跡	78
6.	串遺跡	78
第5部	千崎古墳群・桐ノ木尾ばね古墳出土人骨調査報告	81
一	資料報告に至る経緯	83
1.	熊本県上天草市大矢野町域出土の人骨資料	83
2.	千崎古墳群・桐ノ木尾ばね古墳の概要	83
二	熊本県上天草市維和島・千崎古墳群出土の古墳時代人骨	85
1.	はじめに	85
2.	遺跡・資料・方法	85
3.	結果・考察	85
三	熊本県上天草市維和島・桐ノ木尾ばね古墳出土の古墳時代人骨	94
1.	遺跡・資料・方法	94
2.	結果・考察	94

## 図 版 目 次

### 千崎古墳群

- 図版 1 1 7号墳の現状（西から）  
2 26号墳の現状（南から）
- 図版 2 1 5号墳北トレンチ完掘状況（北から）  
2 5号墳南トレンチ完掘状況（南から）  
3 5号墳東トレンチ完掘状況（東から）  
4 5号墳西トレンチ完掘状況（西から）
- 図版 3 1 5号墳北トレンチ西壁土層断面（東から）  
2 5号墳西トレンチT5-3・T5-4ライン土層断面（北から）  
3 5号墳北トレンチ平坦面検出状況（西から）  
4 5号墳西トレンチ溝状遺構検出状況（北から）
- 図版 4 1 5号墳石室全景（南から）  
2 5号墳石室羨道部（北から）

### 広浦古墳

- 図版 5 1 広浦古墳遠景（長砂連古墳周辺から）  
2 墳丘近景（東から）  
3 墳丘近景（北から）  
4 墳丘近景（西から）  
5 墳丘近景（南から）
- 図版 6 1 石棺材 1  
2 石棺材 2  
3 石棺材 3  
4 石棺材 4  
5 石棺材 5  
6 石棺材 6・7・9

### 小波戸遺跡

- 図版 7 1 小波戸遺跡遠景（南から）  
2 小波戸遺跡近景（北から）  
3 調査区西壁断面（東から）
- 図版 8 1 17層木器出土状況  
2 18層礪式土器出土状況  
3 調査終了時調査区近景（西から）
- 図版 9 1 縄文時代前期の土器  
2 縄文時代中期～後期の土器  
3 縄文土器底部資料  
4 須恵器
- 図版10 1 縄文時代石器（15層下・16層）  
2 縄文時代石器（17層・18層・層位不明）  
3 掘棒（表面）  
4 掘棒（裏面）

## 上天草市所在遺跡

- 図版11 1 小波戸遺跡・江樋戸遺跡表面採集縄文土器  
2 小波戸遺跡・江樋戸遺跡表面採集縄文土器底部資料  
3 小波戸遺跡・江樋戸遺跡表面採集石器（剥片石器）
- 図版12 1 小波戸遺跡・江樋戸遺跡表面採集石器（石斧）  
2 小波戸遺跡・江樋戸遺跡表面採集石器（石錘・礫器）
- 図版13 1 柳貝塚表面採集縄文土器  
2 柳貝塚表面採集石器（石鏃・石匙）  
3 柳貝塚表面採集石器（石斧・礫器等）
- 図版14 1 荒木浜・治郎田遺跡表面採集縄文土器  
2 荒木浜遺跡表面採集石器  
3 治郎田・満越・串遺跡表面採集石器

## 挿 図 目 次

### 千崎古墳群

- 第1図 千崎古墳群の位置……………3
- 第2図 大矢野島・維和島周辺の遺跡分布図……………4
- 第3図 熊本県・鹿児島県所在の箱式石棺を有する古墳分布図……………5
- 第4図 千崎古墳群の古墳分布図……………12
- 第5図 千崎古墳群東尾根測量基準点の位置関係（国土座標による）……………13
- 第6図 7号墳現状実測図……………15・16
- 第7図 26号墳箱式石棺現状実測図……………17
- 第8図 26号墳箱式石棺西長側石組み合わせ状況……………17
- 第9図 5号墳トレンチ配置図……………18
- 第10図 北・南トレンチ平面図・断面図……………20
- 第11図 西・東トレンチ平面図・断面図……………21
- 第12図 5号墳墳端ライン想定図……………22
- 第13図 5号墳横穴式石室残存面検出状況……………23

### 広浦古墳

- 第14図 広浦古墳の位置……………29
- 第15図 広浦古墳周辺地形……………29
- 第16図 九州装飾古墳分布図……………30
- 第17図 広浦古墳発見装飾石材……………35
- 第18図 広浦古墳周辺地形測量図……………37
- 第19図 墳丘現状実測図……………39
- 第20図 石棺材現状分布図……………40

### 小波戸遺跡

- 第21図 小波戸遺跡の位置……………45
- 第22図 小波戸遺跡周辺地形測量図……………46
- 第23図 調査区西壁土層断面図……………47
- 第24図 出土縄文土器実測図（1）……………50
- 第25図 出土縄文土器実測図（2）……………51

第26図	出土石器実測図（1）	54
第27図	出土石器実測図（2）	55
第28図	出土木器実測図	56
第29図	出土須恵器実測図	58

#### 上天草市所在遺跡

第30図	大矢野島・維和島周辺の遺跡分布図（縄文・弥生）	64
第31図	小波戸遺跡・江樋戸遺跡表面採集資料実測図（縄文土器）	67
第32図	小波戸遺跡・江樋戸遺跡表面採集資料実測図（剥片石器）	69
第33図	小波戸遺跡・江樋戸遺跡表面採集資料実測図（石斧）	70
第34図	小波戸遺跡・江樋戸遺跡表面採集資料実測図（石錘）	71
第35図	小波戸遺跡・江樋戸遺跡表面採集資料実測図（礫器）	72
第36図	柳貝塚近景	73
第37図	柳貝塚表面採集資料実測図（縄文土器）	74
第38図	柳貝塚表面採集資料実測図（石器）	75
第39図	荒木浜遺跡近景	76
第40図	荒木浜遺跡表面採集資料実測図	77
第41図	治郎田遺跡近景	78
第42図	満越遺跡近景	78
第43図	串遺跡近景	78
第44図	治郎田・満越・串遺跡表面採集資料実測図	79

#### 千崎古墳群・桐ノ木尾ばね古墳出土人骨

第45図	千崎古墳群・桐ノ木尾ばね古墳の位置	83
第46図	千崎古墳群10号墳（手前）	84
第47図	桐ノ木尾ばね古墳（南から）	84
第48図	桐ノ木尾ばね古墳（東から）	84
第49図	千崎古墳群10号墳出土人骨残存部	86
第50図	ペンローズ形態距離（千崎古墳人より）	90
第51図	千崎古墳群10号墳出土人骨	92
第52図	千崎古墳群18号墳出土頭蓋骨	93
第53図	桐ノ木尾ばね古墳出土人骨残存部	94
第54図	桐ノ木尾ばね古墳出土頭蓋骨	97

## 表 目 次

#### 千崎古墳群

第1表	熊本県所在の箱式石棺を有する古墳地名表（1）	6
第2表	熊本県所在の箱式石棺を有する古墳地名表（2）	7
第3表	熊本県所在の箱式石棺を有する古墳地名表（3）	8
第4表	鹿児島県所在の箱式石棺を有する古墳地名表	9
第5表	2005年設置測量基準点の現場座標	13
第6表	2005年設置測量基準点の国土座標	13
第7表	千崎古墳群所在箱式石棺の特徴	14

## 広浦古墳

第8表	九州装飾古墳地名表(1)	31
第9表	九州装飾古墳地名表(2)	32
第10表	九州装飾古墳地名表(3)	33
第11表	測量基準点の国土座標	36

## 小波戸遺跡

第12表	小波戸遺跡出土石器組成表	53
第13表	小波戸遺跡出土木器および植物遺存体の放射性炭素年代	60

## 上天草市所在遺跡

第14表	遺跡の立地と現状および表面採集遺物	65
------	-------------------	----

## 千崎古墳群・桐ノ木尾ばね古墳出土人骨

第15表	千崎古墳群出土人骨一覧	85
第16表	主要頭蓋計測値の比較(男性)(千崎古墳群出土人骨との比較)	87
第17表	上肢骨計測値(男性、左)(千崎古墳群出土人骨との比較)	87
第18表	上肢骨計測値(女性、左)(千崎古墳群出土人骨との比較)	88
第19表	下肢骨計測値(男性、左)(千崎古墳群出土人骨との比較)	89
第20表	推定身長の比較(cm)	90
第21表	主要頭蓋計測値の比較(女性)(桐ノ木尾ばね古墳出土人骨との比較)	95
第22表	上肢骨計測値(女性、左)(桐ノ木尾ばね古墳出土人骨との比較)	95
第23表	下肢骨計測値(女性、左)(桐ノ木尾ばね古墳出土人骨との比較)	95